



## ◇企業は面接で何を評価するのか？

もうすぐ就職試験(面接)が始まります！今回は、企業が面接で何を評価するのか、企業側の視点を載せてみました。面接の評価ポイントは、「**外面的要素**」「**内面的要素**」「**自社とのマッチング**」の3つに大別できます。「外面的要素」を決定するのは、身だしなみやマナー、話し方など。**人は会ってから数秒で第一印象が決まる**と言われており、面接の重要なポイントと言えます。「内面的要素」は、社会人として必要なコミュニケーション能力や協調性を持っているかということ。質問の答えやふるまいから判断されます。

### 主な評価項目

外 観	髪型、服装等に清潔感があるか
態 度	入退室のマナー、面接中の姿勢、声の大きさ、ハキハキとした動作
表 情	顔の表情、元気さ、身ぶり・手ぶり等の動作で伝わる熱意
理解力	聞かれた質問の意味を理解する力があるか
論理性	具体的・論理的に話をする力があるか
人 物	一緒に働きたいと思える人物か(主体性、積極性、責任感、協調性等)
能 力	強み、長所、特技、経験、資格、得意なことなどがあるか
経 験	学生時代の経験・知識の豊富さ、それらによる成長の足跡
意 欲	働くことに対する希望・目的意識、自社を志望する熱意



そして最後の評価ポイントは「自社とのマッチング」です。外面的要素・内面的要素を総合的に判断し、会社との適性度をはかります。

**企業は、利益につながるから人を雇っています。そのため、「利益に貢献できる人材」を求めています。企業に「それはどんな人材か」とたずねたら、知識や技能は別として、「自分で考え行動出来るタイプ」と答えるはずです！**



(資料出所 厚生労働省「高校生就職ガイダンス」より)

## ◇先輩からのアドバイス◇

しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人 ぶなの木福祉会  
きふくしかい  
やまだ いちほ  
**山田 一穂 さん(23)**  
同朋大学 卒



### 実際に働いてみてどう感じていますか？

職員を含め施設内の雰囲気明るく、日々仕事のやりがいを感じながら働いています。特に利用者さんがサポートなしで物事を出来るようになった事などやりがいを感じます。また、利用者さんに対するサポートはやりすぎではダメで、見極め考えながらやらなくてはならないことが難しいですが、やりがいを感じています。

### どんな仕事をしていますか？

ぶなの木学園で生活支援員として働いています。知的障がいのある方の生活面、仕事面で、1人で行うには難しいこと(食事・トイレ等)のサポートを行っています。

### 学生時代の思い出。頑張ったことは？

サークル活動で、知的障がいの方と公共施設へ行ったり、2泊3日でキャンプをするボランティアをしたことです。計画からスタッフ集め、また当日まで常に気を使わなければならなかったですが、スタッフとしての意識を持ちながら活動をした事が楽しかったです。現在は生活支援員として障がいを持った方と接していますが、職員として働いてみると学生時代の経験とは違い、終始責任を持って関わっていかなければならないと思いました。

### 現在の職種を目指した理由は？

祖母が病気にかかり、本人の辛い思いを少しでも支援していきたい、支援できる人になりたいという思いから、福祉に興味湧き勉強をしました。

### 郡上で暮らしていて良かったことは？

対人関係の仕事なので、モヤモヤとした気持ちを持ったまま家へ帰宅することがあります。そのような時には親からの声かけがあり、支えられてると感じられるので、とてもありがたいと思っています。また、休日には友達と過ごしたりする機会も増えて良いです。

### 現在の施設で働こうと思った理由は？

大学生の時に知的障がいの方たちと関わるサークル活動を行ってきて、その中で『障がいのある方と一緒に働き、サポートしたい』と思い、就職活動を始めました。郡上へ戻って来るのか、県外で就職するのかぎりぎりまで悩みましたが、家族の支えになりたいと思ったこと、施設を見学し、ここで働きたいと思ったので郡上での就職を決めました。



### これから就職活動を始める後輩へのメッセージ

親からアドバイスされた事ですが『自分のやりたいことを仕事にするのが一番長く続く』と思います。また、『自分がやりたい事は、仕事への意欲へ繋がる』と思います。

**<編集後記>** 高校生の場合、「高校生らしい元気がある」「言われたことは素直にできる」という人物像が伝われば採用担当者は良い印象を受けます。メリハリのない態度や元気がない対応をしてしまうと履歴書や筆記試験の出来が良くても採用されません。本番には元気よく臨みましょう。